

標茶・白糠で事故 トラック運転手ら3人死亡 路面凍結でスリップか？

2016/12/01 14:59

北海道東部の標茶町と白糠町で1日朝、大型トラックなどが絡む事故が相次ぎ、運転手の男性ら3人が死亡した。いずれも路面の凍結でスリップして対向車線にはみ出したとみられ、道警が詳しい状況を調べている。

1日午前6時45分ごろ、標茶町雷別の国道272号で、大型トラック同士が正面衝突した。運転手の男性2人は病院で死亡が確認された。

道警弟子屈署によると、現場は片側1車線のカーブで、路面は凍結していた。同署はどちらかがスリップし、対向車線にはみ出したとみている。

また白糠町の道東自動車道では午前7時25分ごろ、乗用車が対向車線にはみ出し、札幌方面に向かっていたトラックと正面衝突するなど4台が絡む事故が起きた。

乗用車を運転していた男性が死亡し、2人が重軽傷を負った。